

シルバー

ところざわ



◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1998.4月15日発行

No.62



今こそ輝くとき!!

副理事長 伊藤政一
事業部会長

会員の生きがいと誇りをもつた就業意欲と姿勢は、年毎に行政、各企業、市民の方々のご理解と信頼を頂き、「高齢者の社会的 importance」は益々深まっております。半世紀前の高齢者に比べ、現在平均年齢七〇歳シルバー会員の活躍を誰が予測できます。半世紀前の高齢者に比べ、現在平均年齢七〇歳シルバー会員の活躍を誰が予測できます。

!!ガンバレ!!シルバーの一言に尽きます。

現在失業者二三〇万人とも言われる極めてシビアな経済不況の中でも、緩みない活躍を続ける会員皆様に心より敬意と御礼を申し上げます。

然し、皆様周知のように出口の見えない深刻な経済低迷は、今後の事業運営についても種々の見解があります。

今回実施された国政による「財政構造改革」で、シルバー人材センター事業に対しての国庫補助金の減額等は一つの試練として受け止めなければなりません。

この状況下で増加の一途を辿る会員の就業対策、特に女性会員を主軸とする福祉、家事援助サービスの拡充は、市人口三十万五千、十二万世帯を対象となることを期待しております。又、現在実施している「七職群」「十八職種」等多岐に涉る就業開拓についても、人生経験豊かな会員の衆知により、事務局員と共にセンターの堅実な発展を図り、少子高齢社会の波を乗り越えて参りましょう。

会員の皆様が「自立、自働、共助」の理念のもとに健健康で生きがいに満ちた就業される中で最も痛ましいことは、就業中の事故及び交通事故等による災害です。

昨年十一月には就業途上交通事故による死亡事故が発生いたしました。この日は奇しくもこの会員の誕生日でした。

今は亡き後藤秀市会員のご冥福を心よりお祈り申し上げつゝ、今後の事故発生皆無を目指し、創立二十周年の平成十年度が共に光り輝く年になることを願つて止みません。

心して

無理は禁もつ高齢者

会員安全就業標語募集入選作

所沢地区 小室 恒さん

事業実績 (平成十年一月末現在)

平成九年度実績 三六億九、二〇〇万円

就業延べ人員 四〇、八七五件
契約総金額 九二萬人日

受託受注延べ件数

昭和五十三年～平成十年一月実績
創立以来会員の方々の就業による活動の成果は左記となり、

創立以来会員の方々の就業による活動の成果は左記となり、

昔は十五歳前後で元服、現在は二十歳で成人の祝典が全国各地で行われておりますが、会員皆様の所沢市シルバー人材センターも本年五月には創立二十周年の式典が予定され、センター事業に大きな節目を迎えることになりました。

受託受注延べ件数

四〇、八七五件

契約総金額 九二萬人日

受託受注延べ件数

三六億九、二〇〇万円

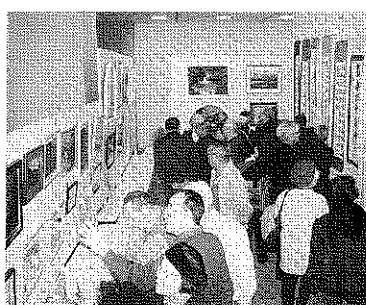
事業実績 (平成十年一月末現在)



理事長、会員代表によるテープカット

第五回目となる平成九年度会員作品展が昨年度と同一会場、市内コンセールタワー一階婦人センター「ふらつと」ロビーを会場に華麗に開催されました。本回は、年初の一月八日と十五日の連続二週にわたる、近年稀な二度の大雪に見舞われ作品の持参提出に困難な状況が伴う等、出足を殺され、応募出品点数は六十八点と前回より三十点程少なく、それぞれ力作、大作揃いではありましたが多少淋しい展示。

開催初日は会場の都合で、午前中に作品搬入飾り着け、午後一時三十分開場という段取りで一般観覧の方が徐々に会場入口に集まつて来られ開場を待たれました。定時の午後一時三十分、高野理事長より開場を待たれる満員の皆さんに謝意の挨拶が述べられたあと、引続き理事長並びに出品会員を代表して北原利晃さん、宇田陽子さん三名による紅白のテープカットが華やかに行なされました。



作品に見る観覧の皆さん

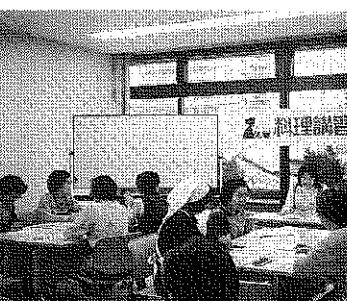
予め提出頂いた作品を職員全員と出品会員数名の方の応援を頂いて飾り着けを終え、定時オーブンセレモニーに万端整えました。そうした間、午後に入りま

第五回（平成九年度）会員作品展華麗に開催される！

開場を待ちわびた皆さんが「ドツ」と展示作品前に駆け寄られ、それぞれの作品に見入り感嘆、賞賛の声があちこちから発せられ、年を追う毎にレベルアップが感じられる作品展でした。そんな雰囲気の中、オープニングを見た初日そして引き続く二日間にわたる期間中二百名の方が会場を訪れ観賞を頂き、シルバー人材センターのPRを含め意義ある作品展となりました。

開催時期が年中で最寒の時、特に今年は大雪に見舞われ出品、観賞共出足を殺された感が

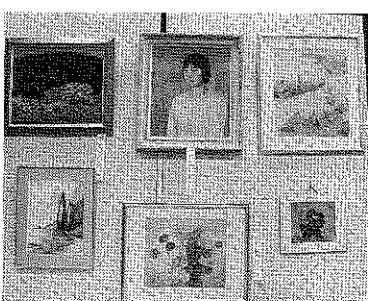
会員各位の健康管理の充実と、女性会員家事援助サービス就業機会の拡充を図ることを目的とした料理講習会が、去る二月二十五日(水)市内コンセールタワー一階女性センター「ふらつと」生活工房調理室を会場に「我が家のお食事」をテーマに開催されました。



調理前のミーティング

た。今回は特に男性会員三名も加わりまして一層開催意義を高め好評裡に終了することができました。

「我が家の健康食」・料理講習会開催!!



華麗な展示作品

ありましたが、開催時期をもう少し温暖の時期までずらして開催したらと強く感じさせられました。

平成九年度

「会員安全就業推進委員会から」

会員就業上事故発生結果と反省!!

平成九年度中会員各位には安全就業（含途上）確保にご留意頂き、そのご心労に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成九年度当シルバー人材センター会員の就業に伴う事故の発生状況と結果についてご報告申し上げ、併せて反省点を上げて見たいと思います。

発生件数並びに事故の内容は別表のとおりでした。年度当初

「私は絶対事故を起さない」をスローガンに、物件・傷害両事故の「○」を目指しスタート致しました。

経過的には別表にも示しますとおり、四、五月のスタート時に無事故、それが六、七、八月の三ヶ月間には連鎖的に四件の傷害事故が発生大変なショック。翌九月には物損事故が二件、そして十一月には傷害事故二件。うち一件は衝撃的な就業途上に於ける交通事故による死亡事故でした。十二月は物損事故一件。

事故防止の目標はあくまで「○」です。せめて前年度より一件でも発生件数を減らしていく。その延長線上にやがて事故「○」があると念じております。傷害事故は総発生件数が減少するどころか一件増加、然もうち一件は平成二年以來発生を見なかつた死亡事故ですべての念願が一気に打碎かれた思いでした。最大の犠牲者はご本人で唯々ご冥福をお祈り申し上げる次第です。そしてご家庭の方々のご愁嘆の程も推測に余りあります。事故を起こしたくて起こす人などある筈はありません。当センターの事故発生の要

の女性会員が積雪に足を滑らせ転倒左肘骨折という傷害事故が発生、当年度七件目の傷害事故となり、遂に前年度の六件を上回ることとなりました。二月には物損事故が一件発生合計四件となり、物損、傷害合わせ総発生十一件となり前年度と全く同じ件数となりました。

此の結果をどう反省したらよいのでしよう。

私達シルバー人材センター会員の基本理念「自主・自立」具現化の第一歩は先ず安全就業を確保し、他の者に迷惑や心配を及ぼさないことにあります。事業年度がスタートとなりました。平成九年度は目標とは懸け離れた結果に終わり誠に残念の一語に尽きます。

新年度はまた心を新たにし初心にかえり「私は絶対事故を起さない」意識を再確認され、あと一步「注意力」と「安全確認」を深められ安全就業確保最優先の日々を重ねていただき

料理講習会に参加して

小山 茂

因を見てみましても、何れもちよつとした不注意と、安全確認不足そして多少の不運がすべてのように感じられます。然してのようになります。然しそのちよつとした不注意と、安全確認の不足が思わず不幸を招き、またその結果の大小を問わず周囲の方々に何等かの心配や迷惑を及ぼし、仮にどんな小さな事故であっても「自己責任」のみでその事故の解決を見ることはできません。従いまして日常に於て特に組織の中で就業に当たっては「多少の事故はあっても止むを得ない」との就業に当たっては「多少の事故はあっても止むを得ない」とする安易な考えは絶対許されないこととなります。

日本人の平均寿命が八十歳代となつた今日成人病にならず元気で過ごすためには食事内容を十分検討する必要があります。たまたまシルバー人材センター主催の「健康食講習会」があると聞いて料理を勉強してみようと思つていた男性の私もこの会に参加させていただきました。講習会はコンセールタワーの二階の「ふらっと」で二月二十五日（水）の十時から矢島専務理事のご挨拶で始まり、続いて講師の井上幸子先生から「高齢者の食生活」について次のように講話がありました。

(1) 野菜を多く摂取すること。

(2) 同じ食生活を継続しないこと。

(3) 一日に三十食品を目標に食生活に問題点はないがストレスが原因で体調の悪い人が増加している。

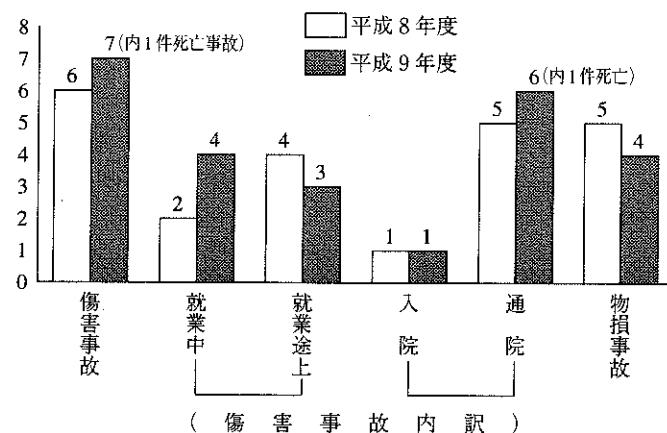
(4) 食生活に問題点はないが簡単な説明を聞いてから、参加者は四グルーピー（一グループ四人）に分かれ、食材の載せる調理台に移動し調理を開始しました。主菜の「さけのホイ

平成9年度 会員就業上事故発生状況表

事故発生月日	会員 性別	生年月日	就業内容	事故の発生と内容の概要				
				発生場所	型別	発生要因	傷損内容	入・通院等
1 H 9. 6. 9	男	S 8.10.14	段ボール箱の解体	伊勢丹所沢センター 21内	傷害	カッターの使用方法不注意	左手切創 (6針縫合)	通院 6日
2 H 9. 7. 5	男	T 14.10.7	駐輪場 自転車整理	ダイエー所沢店駐輪場	傷害	自転車移動にあたり安全確認不足	打撲	入院 3日 通院 31日
3 H 9. 7.15	女	S 9. 2. 21	室内清掃 (窓ガラス拭き)	所沢市リサイクルセンター内	傷害	作業台より降りる際、安全確認不足	右上腕骨折	通院 40日
4 H 9. 8.15	男	S 10. 6. 17	就業途上 (自転車)	所沢市中新井 1-870 地先	傷害	自転車で歩道に乗り入れ時の不注意	左右薬指及び左小指骨折	通院 15日
5 H 9. 9. 3	男	S 7. 3. 1	植木の剪定	所沢市松葉町 7-20 駐車場	賠責	木製三脚の安全点検不良 (使用前チェック)	駐車車両損傷	
6 H 9. 9.24	男	T 6. 8. 15	植木の剪定	所沢市中新井 3-3-12 大柄進様宅	賠責	三脚移動中、足がもつれて倒れ、窓ガラス・網戸損傷	ガラス 1枚・網戸 1枚損傷	
7 H 9.11.11	男	S 7. 9. 28	流れ作業 糞便運搬	新日本機械工場内	傷害	作業上の判断ミス	右手甲裂傷	通院 44日
8 H 9.11.19	男	S 4.11.19	就業途上 (バイク)	所沢市東所沢和田 4-1-5 地先交差点(無信号)	傷害	信号機のない交差点の横断にあたり安全確認不足	脳挫傷	死 亡
9 H 9.12. 4	男	S 4. 3. 31	障子の張替え	所沢市久米 368 鈴木久雄様宅	賠責	作業上の不注意	雪見障子・ガラス破損	
10 H10. 1.10	女	S 9. 5. 15	就業途上 (徒歩)	所沢市荒幡 1025 地先路上	傷害	積雪に足を滑らせ転倒	左肘骨折	
11 H10. 2.23	男	S 4. 6. 20	植木の剪定	所沢市北野 302 池田友子様宅	賠責	三脚の移動にあたり不注意	外灯グローブ落下、破損	

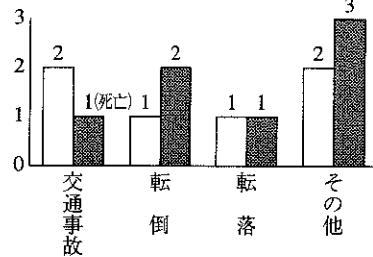
平成9年度 会員就業(含途上)上事故発生
対前年度比較表

1. 種類別(傷害・物件)事故発生内訳



	平成8年度	平成9年度
件数	摘要	件数
傷	通院	5
害	入院	1
賠	責任	5
計		11
	途上 3	6
	植木 2	3
	途上 1	1
	植木 4	4
	その他 1	3
		その他 1
		11

2. 傷害事故原因別内訳



各地区懇談会開催される!!

じめ関係職員からも矢島事務局長は、事務局で開催されました。記の内容で図る目的で各地区懇談会相互の親睦・交流と円滑な事業運営並びに、会員安全就業の一層の徹底を図る目的で各地区懇談会が左

味噌あえ」汁物の「のつペイソースかけ」の四種類のメニューをレシピのメモを見ながら手順よく協力して調理に取り組んだので時間内に調理が完了しました。出来上がった料理が調理台の上に並べられると、和気あいあいのうちに試食が始まっています。皆で食べる楽しみと同時に作る喜びを味わいました。私はこの料理実習の成果を確実に覚えられることを実感しました。出来上がった料理が調理台の上に並べられると、和気あいあいのうちに試食が始まっています。今後もこのような企画を作成して下さるようお願いいたします。

私はこの料理実習の成果をふまえ、これから自分の料理のバリエーションを増やし、更に創作料理ができるよう努力したいと思います。想切丁寧に実技指導をしていただき有難うございました。今後もこのような企画を作成して下さるようお願いいたします。

地区リーダーの活躍に支えられた婦人部!!

婦人部副部長 島 とみ

平成八・九両年度にわたり、婦

人部の活動を支えて下さった各
地区リーダーさんが本年度を
以つて相当数の方が交代されま
す。そこで去る一月二十七日
(火) 本年度最後のリーダー会を開
き、じっくりと反省などをい
たしました。婦人部設置の目的
に照らして自分達の活動はどう
だったのだろうかという点でし
た。

婦人部設置の目的は婦人部要
綱第一条に「婦人会員の就業機
会の増大と会員相互の親睦と連
繋を密にして社会福祉に協力す
ることを目的とする」とうたわ
れています。

反省会の席上、各地区リーダー
の方達は一様に「お役に立
てなくて」と謙虚な反省の弁を
述べられました。

然し、年度当初の四月には婦
人の集い、五月には有意義な日
帰り研修旅行、六、七、八、九
月には市民フェスティバルに向
けての大変な諸準備、そして十
月二十五日(二十六日の二日間)
にわたる本番当日はセンターの
PRを含め大きな成果を挙げる

ことができました。

明けて新年の二月二十五日に
は料理講習会と年間を通じ略フ
ル回転の活動となりました。特
に今年度はフェスティバルの作
品を地区からあげようというこ
とで、各地区リーダーさんが中
心となり活動して頂くことが多
かったわけです。実際、幾つも
の地区で毎週のように会員が寄
り合って種々の小物作りや造花
などに励まれました。おかげで
搬入日には一、〇〇〇点以上の
作品が集まり、事務方の斎藤さ
んや集計に当った石田婦人部長
が嬉しい悲鳴をあげる場面も沢
山ありました。婦人部相談役の
兼松さんが「今年のフェスティ
バルの盛り上がりは地区リーダー
の力なくしてはなかつた」との指摘
がなされました。過言ではないで
しょう。

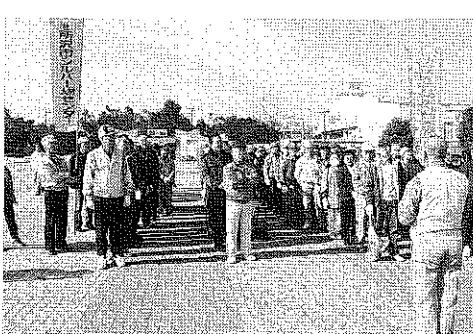
本年度をもつて地区リーダー
を退かれる針谷さん(富岡地
区)田中さん(新所沢東地区)保
坂さん(山口地区)熊谷さん(中
央地区)河西さん(吾妻地区)染
谷さん(手指地区)。精力的な
ご協力本当に有難うございまし
た。

淡い陽光下.....

早春のクリーン作戦!!

二清掃奉仕活動に会員100余名参加=

仕日和となる。
四班に作業班が編成され、担
当区域の清掃に当たり、それぞ
れ収集した成果のゴミを集め
て雨天の予報に集い実施さ
れた。



作業開始前、伊藤副理事長の挨拶

られ解散となる。
日頃疎遠な会員相互の明るく
元気な作業と談笑が特に印象的
であった。

当日はかね
て雨天の予報
が、予報が外れ
て心配された
が、予報が外れ
むしろ好天に
恵まれ絶好の奉

PR活動の一
環として恒例
となつた清掃
奉仕活動が本
年も去る三月
九日(月)所沢
航空公園駅前
に集い実施さ
れた。

地 区	開 催 日	出席人 数
小 手 指	H. 9.10. 5(月)	21
松 井	H. 9.10. 9(水)	25
所 沢	H. 9.11. 7(金)	20
三 ケ 島	H. 9.11.19(水)	28
中 央	H. 9.11.30(日)	23
富 岡	H. 9.12. 7(日)	19
新 所 沢	H. 10. 1.17(土)	27
山 口	H. 10. 2. 1(日)	25
柳 瀬	H. 10. 2. 1(日)	10
新所沢東	H. 10. 2.21(日)	20

清掃ボランティアに初参加して

富岡地区

滝田幸夫

陽春の匂いが一段と感じられる三月九日(月)所沢市航空公園駅周辺の「清掃ボランティア」に参加した。

これは所沢市シルバー人材センター主催、今は恒例となつた「清掃奉仕作業」の呼びかけに応じたもので、ただの奉仕作業、従つて「二・三〇名位が集まるかな」と予想していたが、同ヨーロッパの「清掃奉仕隊」の

清掃奉仕作業に参加して

小手指地区 中山 初枝

心配された天候も予報が外れ、好天に恵まれた三月九日(月)清掃奉仕作業に参加する。当日は集合場所の所沢航空公園駅へ多少早めに行こうと思ひ余裕をもつて家を出る。

電車の乗り継ぎなども順調で集合時間八時三十分前には到着してしまう。陽の当たる場所を探し、足早に出勤する人の流れを眺めているうちに、冷たかつた足が暖かくなり、空を見上げると雲一つない青空、風もなく気持ちよい朝。Kさんに声をかけられホッとして、Yさんに出逢つて心強い

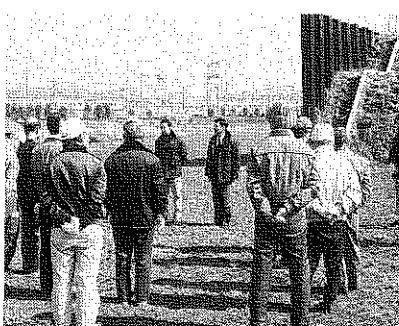
二本のノボリの下に集まつた会員たちは何とその三倍を超える百余名。女性も相当混り所沢市シルバー人材センターの会員の裾野の広さと善意の集団にびっくり。中には勤務先の徹夜の仕事帰りに駆けつけた熱心なご仁もいた。

清掃奉仕作業はヨーロッパ周辺を始点に市役所から警察までの官庁街、それと道路を挟んで向かい合う商店街など約一キロの周辺歩道と植え込みのゴミ集め。四班の会員たちはそれぞれ

気持ちになる。そうこうしている中に集合時間となり四列に並び役員から挨拶があり、係の方から清掃場所の指示を受け、手袋、ビニール袋などをもらって指定の場所へ。私達B班は市役所前の商店街通りの信号から、警察署前の信号まで。

頂いた手袋に手を通して作業開始。Kさんと一緒に組でゴミ袋を持ち、さつきの植え込みの中のゴミや空き缶、道路の落ち葉の清掃。缶コーヒーやウーロン茶の空き缶をよくこんな奥まで捨てたもんだと思いつながら、手の届かない所のものは棒を持つている方に出してもらう。又読んだあと分厚いマンガ本や大リキ缶などまでわざわざ

竹ボウキやビニール袋を持つて、空き缶中心の不燃物班、タバコの吸い殻などの可燃物班に分かれてひと汗をかく。正午頃には小型トラック二台分のゴミを収集して陣頭指揮をとつた伊藤副理事長等関係者を喜ばせる。また参加者たちも又福祉の受け手から、高齢社会の担い手としての「実力」を大いに發揮してご満足の様子。初参加の私も「ボランティアとは何か」あらためて考えさせられた貴重な一日の体験であった。



矢島専務理事の激励

冬季を除き忙しく活躍され、特に今年シーズンより市の委託を受けて大幅な就業拡大が予定される除草作業。その就業を希望する十九名の会員の参加を得て、除草作業実務研修会が北野砂川堀調整池内で、除草班リーダー伊藤貴美蔵会員を講師に迎え、去る二月二十三日(月)開催されました。

=除草作業班大増員=

除草作業(技術習得) 研修会開催!!

新人 19名参加

参考の会員が見慣れない刈払機を目前にして、その実技に当たつてはたじろぐのではないかと心配しましたが、その懸念は無用、参加者全員がむしろ次々と積極的に操縦に挑戦、頗もしくさせられました。研修は單に草の刈り方だけでなく刃の取り替え、手入れの方法など全般にわたって行われましたが、熱心に聞き取り、また実際に取り組んでいました。

この度の研修会の開催に当たりましては十九名もの希望者がいるとは正直思つておりませんでしたので嬉しい悲鳴と言つたところ。全受講者がシーズンに

は揃って就業の機会が得られるよう就業開拓に更に頑張らなければと責任の重さを感じました。お研修会の途中忙しい中、矢島専務理事が現場を訪れ「就業機会の拡充と事業収入の拡大を図り一層、センターの発展を期したいので技術を確実に習得され協力願いたい」と激励されました。

「北帰行」物語

新所沢東地区 三橋 正一

窓は夜露にぬれて都すでに遠く北へ帰る旅人ひとり涙流れてやまず

「六〇年安保」の前後に「歌ごえ喫茶」で歌われはじめ、小林旭の歌と映画で全国的に知られるようになった「北帰行」。この歌が旧制高校で最後に誕生し、終戦によって最初に消滅した旅順高等学校で生まれ、うたいつがれてきた事を知る人は少ない。この歌の作詞・作曲者の宇田博氏（東京放送監査役・故人）は旅順高校の一回生だったが、

——よくナンバーを間違えませんね。
——ナンバーを一字一字読んでいません。パツと見てそのまま打ち込みます。見間違う事はないですね。トラブルですか？
それはありませんね。未払いのまま出ようとした車を追いかけ扱わせた事はありますか？
て混んだ時など順に待ってくれて皆さん素直ですよ。男性の方が有難うとか御世話様とかよく声をかけてくれますね。

メンバーには八十歳の方もおられます。くれば健康にござるべからば祖国我が故郷よ留意を！。
(藤原)



進入車両の受付

職場めぐり

こんな仕事・こんな職場(3)

御幸町西、同東、寿町、寿町分場の四か所の市営駐車場を管理しているのが十二名（各所男一・女一の三人）のシルバーさん。出入車のチェックや料金徴収が仕事です。一人なので、気ままに手洗いに行けないし、狭いプレハブでの夏の熱暑、冬のすきま風には少々こたえます。朝八時から勤めて、二時の交替時間が来るときホッとするそうです。あとの一人が休みです。

— 収容台数はここ（寿分）が

一番多いんですが、公民館や旧市役所があつて三分の二は無料のお客様なんですね。



戦時中の厳しい時期に、授業をサボつて女性とデートした事が

学校当局にバレて退学処分になつたが、すぐに奉天（瀋陽）の実家へも帰れず旅順に居た一ヶ月程の間につくられたのが「北

帰行」なのである。

昭和五十五年四月NHKの3チャンネル「NHK文化シリーズ・愛唱歌物語」（同三回）で「北帰行」がとりあげられ、わが旅順高等学校同窓会にテレビ収録の出演依頼があった。

昭和五十五年四月七日、収録に参加したのは宇田氏を始め、かつての教授一名生徒六名の計八名であった。（小生も参加）

三国一朗氏の司会で、NHK一〇四スタジオで午後三時より九時までの収録の間、我々は四十年前の青春時代に戻つて種々の思い出を語り合いの時を過ごしました。「流行の北帰行は正調でない」とか、「宇田氏の作った第一回寮歌も歌うことを禁止された」とか、「引き揚げまでの苦労」

正調「北帰行」は旅順高校同窓会によつて歌いつがれている。今は黙して行かん何をまた語るべからば祖国我が故郷よ明日は異郷の旅路

俳句

吾妻地区 渕江 梯次 (梯子)

父の忌や轍の深き雪の道

小菊咲く紺屋の広場駐車場

里芋を鍔一振りの株重し

日脚伸ぶ何故か少なき山鷗

薄氷わたる園児の通ひ途

短歌

(1) 日時 平成十年五月二十九
日(金)午後四時より会場 式典と同会場にて
場所 総会に引き続き同会場(2) 日時 平成十年五月二十九
は当日会場にて微収)三、創立二十周年記念祝賀会
日時 平成十年五月二十九

所沢地区 小山 茂

建ち並ぶ超高層のビル仰ぎありし日の街をなつかしく思う
駅前で絶え絶えを唱える若き僧ろう人形の如く動かす
身辺のがらくた整理のはからず捨てるに惜しき物多くして
目にやさしい木々の若芽に魅せられて峰の小道を今日も歩めり
辿り来し峰より見下ろすわが街はもやのなかに包まれていて

吾妻地区 渕江 梯次 (江雲)

対岸に牙城の如き寺そびえ只見の川を雪見の船に
湖風に肌身ふるえし岸辺には鴨や白鳥飼を競いけり
健やかに絆うこと樂し早刈の青さ漂う注連縄づくり
颯爽と降るみこしの道みちを暑さにめげず今日の樂しき
七と三歳となりて恙なく日日のたのしきシルバーのちから

◎料理講習会の開催

美希かおり (所沢市出身キングレコード専属)

一月開催の料理講習会には、
多数のご参加を頂きました。
がとうございました。次回は新しくオープンした所
沢市保健センターを利用「上手
に脂肪を取りましょう」と題し
て左記により開催いたします。
新しい施設で楽しく健康と料
理を学びましょう。興味ある方
はぜひご参加下さい。

一日時 平成十年六月十七日(水)

一場所 所沢市保健センター

(所沢駅より徒歩十五分)

一募集人員 五十名

一会費 無料

一講師 所沢市役所

栄養士 一幸子先生

一その他
申込はセンター事務局まで
(電話可)定員になり次第締切ら
せて頂きます。

あとがき

恒例の清掃奉仕作業は、今年
もお天気に恵まれました。さす
が人手のシルバー、トラック山
積みのゴミは見事でした。ゴミ
袋一杯にしてホコリ高き人、植
え込みの中の空き缶を決して見
逃さぬ人、またホウキを持って
歩く人や「ホラそこに空瓶！」と
指さす専門の人、腰を降ろして
一服して、話に夢中でふと捨て
そうになつた人など、いろいろ
いましたが、根は皆同じシル
バー、たくさん顔見知りもでき、
公園の日だまりでお弁当を食べ
たりで、結構楽しいお祭りでし
た。そのあと一緒にカラオケに
行つた人達もあつたとか……。

元気浣剤、仲良く働き、樂し
みましょう。それがシルバーで
すから。そんな気分で62号を送
ります。

今年は五月に当シルバーも二
十周年を迎えます。はたちの旅
立ちです。前途洋々、希望を高
く持つてがんばりましょう。

ガツツ！我等シルバー！

(藤原記)

平成十年度定期総会並びに創立二十周年記念行事日程が左記のとおり決定いたしました。多數会員各位のご参加をお願いいたしました。

一、平成十年度定期総会
(1) 日時 平成十年五月二十九
日(金)午後一時三十分
場所 エスボワール農麓苑
(2) 日時 平成十年五月二十九
日(金)午後一時三十分
場所 エスボワール農麓苑

創立二十周年記念開催日程決まる